

やまびこステーション紹介

移動図書館車「やまびこ」は、自動車文庫（25市町村）・へき地仲よし子ども図書館（21校）・PTA文庫（11校）の3つの事業を14コースの巡回計画で年3回配本しています。

南郷村立水清谷小学校

〒883-0301 東臼杵郡南郷村大字水清谷180番地
TEL (0982) 59-0080/FAX (0982) 59-0094

私たちの学校は、日向市から西へ約40km入った南郷村という山村にあり、「水清谷」は、名前の通り水が大変きれいで自然豊かなところ。1・2年、3・4年、5・6年の完全複式学級で、全校児童16名の小規模校です。

子どもたちは、みんな明るく素直で、とても仲良しです。いろいろな行事や活動も全校児童で取り組んでいます。

その中のひとつに、俳句作りがあります。毎週1回木曜日の朝の「俳句タイム」では、みんなそれぞれ、自分の感じたことや思ったことを5・7・5の短い言葉の中に、自由に上手に表現しています。この時間は、みんなの大好きな時間です。

そして、「俳句タイム」と同じくらい楽しみにしているのが、「朝の読書の時間」です。この時間は、月、水、金の週3回、朝の活動の時間にあります。このときに、『やまびこ文庫』を楽しみに読んでいます。私たちの学校では、それぞれの学級に、自分たちで選んだ『やまびこ文庫』を置いています。ですから、いつでも読みたいときに読むことができ

ます。

また、気候のよい季節には、運動場にある野外テブルに出て、読書を楽しむこともあります。涼しい木陰で爽やかな風に吹かれての読書は、本の世界に没頭できて、何よりも楽しいひと時です。これからも、このような読書の時間を大切に、読書を楽しんでいきたいと思えます。早く、次の『やまびこ文庫』が来ることを楽しみに待っています。



読書団体紹介

パオパオひろば

県立図書館では、読書団体の育成と読書普及活動の推進を図るため、貸出文庫（100冊まで自由に選本）と10冊文庫（同じ本を10冊セット）の事業を実施しています。

今から10年前のことです。私たちは皆同じ団地に住んでいて、毎週近所の幼児サークルに参加するのが楽しみでした。いろいろな絵本を読んでもらったり、面白い本を紹介してもらったり……。

そして、いつの間にか参加する側から活動する側へと変わっていき、子どもたちも未就学児だったこともあり、同じくらいの子どもたちを集めて『パオパオひろば』というサークル名で活動を始めました。

主に絵本の読み聞かせ、そしてその絵本どおりのことを皆で体験してみるという企画をして楽しみました。例えば、『しろくまちゃんのほっとけーき』を読んでホットケーキを作ったり、『やさいでぺったん』を読んで野菜版画をしたり、『めっきら もっきら どおん どん』を読んで野山をかけまわり鬼ごっこをしたり、と家の中ではなかなか出来ないことをして遊びました。そして、すぐに家にある本だけでは物足りなくなり、先輩方に貸出文庫を紹介してもらいました。

毎週1回車に本を載せ、集会所へ行き本を貸し出す。それ以外の日も毎日のように集まり、次のサークルの計画を練ったり、勉強会をしたりと、子どもを抱っこしながらの忙しい毎日でしたが、どれも楽しい思い出です。

子どもたちが小学校に上がってからは、学校の朝自習の読み聞かせに参加させてもらい、たくさん

児童たちとの出会いがありました。近所で見知らぬ子に声をかけられたり、『あの本面白かったよ』という声を聞くと嬉しくなったものです。

現在は、中学生や高校生になった子どもたちに加え、新たに2人の赤ちゃんが誕生し一段とにぎやかになり、借りる本も幅広くなりました。私たちもそれぞれ仕事を始め、メンバー全員顔を合わせる事ができる貸出日が楽しみです。これからも背伸びせず、自分たちのリズムで貸出文庫を続けていけたらと思えます。

パオパオひろば 代表 甲斐 律子

